

# HAND in HAND

はんど・いん・はんど

〔楽しいばかりじゃない——母と子の生活〕

■秋も深まってまいりました。皆さまお元気ですか。先月号で急病のことを書いたら、お見舞いのお便り、沢山いただきました。ご心配おかけしてすみません。嬉しかったです、お便りや電話。

■私は父親っ子で育ったせいか、男性に対して期待が大きすぎるころがあります。父は仕事もできたし、スポーツ万能で、かつ、母が病気の時など会社を休んで私たちに食事を作ってくれた。サービス精神旺盛で、マメだから、いつも父がいると家が明るく楽しかった。そういう父親に大事にされて育つと、男はみな、そういうものだと思ってしまう。だから、ちょっと病気などして気弱になると、男がそばにいてくれたら、なんて思うのが、私の甘ちゃんのところなのですが、「夫なんていたって、私が痛がってウンウンなって寝ているのに、夕食どうしようかなんて聞きにくるのよ」と、Sさんが発言。そうよねえ、相談受けていると、その存在が逆に病状を悪化させ、ストレスがたまるって男のほうが多いみたい。理想の男を追い求めすぎて失敗を繰り返すのはそろそろやめなくちゃ。

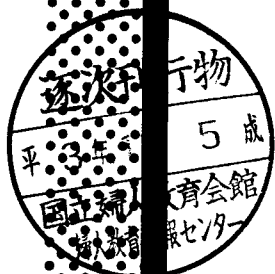
■それにしても、ちょっと9月はきつかった。テレビやラジオのゲスト出演や雑誌のインタビューは片っ端から断れても、半年前からの予定の講演等は、点滴と痛みどめを打って出かけました。痛みがとれてからも、背中などからだ中がガチガチ。それにだるい。そういう時って余裕がないから、娘につい当たってしまっ。娘も私の入院騒ぎに振りまわされて疲れきり、2週間も学校は行かない、毎日、私に当たりちらす。ああ、子どもなんていなきゃどんなに楽かと私も思い、しんどい1カ月でした。やっと体力回復。娘との関係も元のいい感じに。健康って大事ですね。

(円 より子)

海を渡る鳥は、波間を漂う流木に憩うという。離婚—それは旅の半ばの一つの出来事。新たな旅立ちをした女たちはいま手を取りあい、女であるがゆえの偏見と差別に向きあう。ハンド・イン・ハンドは生きやすい社会をめざし、支えあう女たちの流木である。

第127号 200円 禁無断転載  
【発行日】1991年11月1日  
【発行所】現代家族問題研究所  
東京都渋谷区千駄ヶ谷1-3-23-504  
〒151 電話03(3402)7354、4385  
【発行・編集人】円 より子  
【編集スタッフ】雪野 美子  
【印刷】(株)日出島

127



## ● 特別企画座談会 ●

## 主夫が語る 家事・育児・仕事

対談者／重川治樹・早借洋一  
司会進行／円 より子

例えば「ああ、離婚して本当によかった」と思っているような人でさえも、病气や登校拒否といったように、子どもがなにか問題を起すと「父親がいけないせいかしら」と不安に陥るもの。そこで今回は、母親不在の単親家庭で奮闘する男性にお話をうかがい、単親家庭での親の役割、片親不在の影響などについて考えてみました。

円 早借さんは離婚して何年くらいになりましたか？

早借 えーと、子どもが今6歳で2歳、正式には3歳のとき離婚していますから、4年たってますね。

円 以前は多摩市で教育委員会にお勤めだったけど、今も？ どういうお仕事していらっしゃるの？

早借 似たような仕事なんですけど、市役所の本庁に移ってコミュニケーションセンターの建設とか運営をしています。

円 お忙しいんですか？

早借 かなりハードです。就業は一応、5時15分までですけど、週2、3回は会議とかが入っていて10時くらいになりますね。土日はお休みですが、それも月に1回くらいは出ます。で、残業が月40時間くらい。

円 月40時間。とすると年間480時間。かなりですね。ところで保育園は何時から何時まで預かってくれるんですか？

早借 朝7時45分から、夕方は6時半までです。

円 じゃあ朝は送ってからすぐ職場の方にいらして間に合うという形ですね。夜はどうしていらっしゃるの？ 会議が長引くなんてときは前もってわかりませんよね。

早借 2年ちょっと前から私の両親が近くに住んでおりまして、そちらに頼んだりします。それから別れた妻も約1年前から近くに公団を借りまして住んでいますから、そ

ちに頼むこともあります。

円 なるほど。おばあちゃんの方に頼んだり、元妻に電話して頼んだりするわけですね。どちらが多いですか？

早借 おばあちゃんの方が多いです。特に急に頼むときなんかは。むこうは教員ですので、なかなか頼みづらいところがありますね。

円 彼女、再婚は？

早借 平成2年10月にしました。円 まだお子さんは生まれてない。

## ● 早借洋一さん

昭和30年12生まれ（射手座、A型）。東京都下の市役所に勤務。妻に好きな人ができたということで4年前に離婚。現在6歳の娘さんと2人暮らし。元妻は10カ月前に再婚して近くに在住しており、毎週1回娘と会っている。

## ● 重川治樹さん

昭和19年7月生まれ（蟹座、A型）。新聞社勤め。絵描きの妻が「家族より、生活より、死ぬまで絵をかくことだけに専念したい」と家を出て、7年前に離婚。長女、長男、次女の3人の子どものうち長女と長男を引き取り、現在3人暮らし。次女は母親と2人暮らし。どちらも再婚はまだ。子どもは自由に母親と会っている。著書に父子家庭体験を綴った『シングル・ペアレント—男の家事・おとこの変革』（光雲社発行、税込1500円）がある。

早借 そういうつもりはないとか言ってました。

円 お子さんは会ってらっしゃるの？ お子さんだけじゃなくて早借さんもいっしょに。

早借 会ってます。毎週。

円 毎週というのはどういう形で？ 週末ですか？ きちっと決めて必ず会ってらっしゃるの？

早借 いえ決めてはないんです。実は2年くらい前からサイコセラピーの勉強に打ち込んでるんですけど、その講座が毎週金曜日に都心であるんですね。

円 なるほど、だから毎週金曜日は彼女が保育園に迎えに行くから毎週会うという。娘さんは向こうに泊まることもあるんですか？

早借 半々ですね。金曜泊まって土曜に帰るというパターン。金曜と土曜連続はないですね。ただそれがどうしてなのかわかんないんですけど。

円 早借さんは、もっと2泊くらいしてもいいと思ってらっしゃるの？ それとも2泊も行ったらそれと寂しいと思ってらっしゃる？

早借 どちらも強いんです。円 むこうが何か言ってきたらそれに応じて考えようという感じなんです。自分からあえて2泊させようとかいう気はない。

早借 そうですね、ないです。

円 なるほど。ところでそうするとお嬢さんはむこうの彼とも会ってらっしゃる。

早借 会ってます。

■未練はないけど気になることも

円 珍しいっていうか、やっぱり新世代だと思いませんか？ 妻に好きな人ができてね、その妻と子どもを会わせ、またその相手の男にまで子どもを会わせるなんて。そ

こまでできる人って今までの日本では少ないですね。それは女の人だってそうだけけど。

重川 うん。世代の違いとかそういうものもあるような気がする。僕なんかは一回さよならしたならバサッと切っちゃうと思うんです。はいさようならって。そうしないとウジウジしちゃってダメなんですよね。

早借 世代の違いとかいうことではないんじゃないかと思えます。むしろ別れたときの自分の彼女に対する見方が、いわゆる女に対する見方ではなかったからそうできるんじゃないかと。たぶんものすごく裏切られた思いであれば私はそういうことはきつとできなかつたんじゃないかなという気がします。それはわかりませんけど。

重川 男と女の情とかそういうんじゃなくて、ただやっぱり生き方がちよっと違うよ、という感じで別れたんですか？

早借 いや、そういうことはないですね。別れたときはやはりこれは許せないと。今再婚してる彼がきっかけなんです。そのときはもう子どももおいて出ていきまして。たいへんな時期というの

はやはりありました。それはもう煮えたぎるようなことがあって。ちよっとした小さなことでそんな気持ちになったり、いちいち気になったりしましたが、大きな家具を持ち出したりということはありませんでした。相手の人と会ったり。全部覚えてますね、やはりそのときのことは。それはそうであつたんですが、ただまあ感情ぶつけて、吐き出すものだしちゃ

つたんじゃないかと思えます。だから未練はなかったですね。出てから2、3カ月してから。ただね、付き合いが長かったから、学生の頃から付き合い合ってたから、自分としてはやはり別れても気になる。「どうやって生きてんのかな」というところは今でも多少はあるんです。

■妻は人生を汚したゴミになった

重川 なるほどね。でもやっぱり僕の場合は、自分の方に非が山ほどあったけれど、それでもある瞬間から徹底的に自分がコケにされてきたんだなって感じ始めちゃったわけ。それで彼女の存在は、間違つて僕の人生をちよっと汚したゴミだと思うようにしてきました。

そう決着をつけない限りダメなんです。だから会ってない。

円 お子さんたちは？ 会ってらっしゃるんでしょう？

重川 会ってます。僕はともかく子どもが行くのはかまわないんです。ただ「帰ってきて僕の前でほんのちよっとでも母親の話をしなように」と申し渡してありますので、子どもたちはヒソヒソ、コソコソやってますね。

円 重川さんのところは、いくつの時から親子3人になったんですか？ 子どもたちが。

重川 えーっと、上が中学1年から2年にかけてですね。下はだから小学校3年から4年にかけてかな。今から7年前のことです。

円 じゃあ早借さんとこよりは年齢的に楽な。

重川 すごく楽です。

円 重川さんのところも、たしか近くにおじいちゃん、おばあちゃんが住んでらして、少し助けてくださるということでしたよね。

重川 はい。おばあちゃんがわりかし頻繁に来てくれたという。夜はほとんど食事用意してくれましたし、朝も最初のうちは作ってくれました。でも元妻の方の

両親ですからね、おじいちゃんの方なんかは「娘の別れた亭主とこんなか行けるか」ってなってますけどね。男つてのはやっぱりくだわりがありますから。

### ■娘の強さに「女はすごいなあ」

円 別れたとき、子どもさんたちはどうだったんですか？

重川 もう、特に息子の落ち込み方がすごかったのがあって。登校拒否はおこすわ。本当に立ち直れるかなって思うぐらい。で僕がまた「おまえは男なんだから」なんて激励できるようなタイプじゃない。こっちもある意味で精神的にヤワな部分があって、笑い飛ばすようなことができないから余計ややこしくって。ゴチャゴチャゴチャゴチャというんなことがね。子どもが落ちこんでるのをカバールなきやいけないという思いも強いんですが、それがまた負担になつて、かえって子どもを怒鳴っちゃったりとかして。さすがに手は出しませんでしたけど、そんな感じで。むこうも死に物狂いでかかってくる、かなうはずないけど、なんかぶつけないと気が済まないという感じで、必死になってぶつか

ってくる時期がありましたね。

円 お姉ちゃんの方は？ 彼女はそういう中で弟さんに援助とかなかったんですか？

重川 全然、しませんでしたね。彼女は彼女で受験生だったし、それから音楽一本やりみたいな時期で、弟どころの騒ぎじゃなくて。でも女はすごいと思いましたね。というの、宣言したんですよ。彼女にも相当落ち込みがあったはずなんですけど、それでも完全に自分たち3人になったとわかったとき「これからはこの家では私が女王さまよ」って。あの時は感心しました。円 とところで重川さん。父子家庭のお父さんには、回りに助けてくれる人がいないとか、そういう子どもが落ち込んでいるという場合に、収入は減るんだけど、転勤だとか残業だとかそういったものがない部署に自分から望んで代わる人がいるんですが、そういうことはお考えになりました？

重川 随分考えました。考えましたけど、ともかくおばあちゃんが来てくれるというのがあったことがひとつと、うちは子どもが比較的大きかったということ、落ち込みはひどかったですけどね、大き

かったことがあって、せっぱつまってはいませんでした。それでもまあ、最終的には少しは暇なところにいるんですけどね。前は1日の労働時間が18時間ということもありましたから。円 それで少しはお子さんとの関係も変わりましたか？

重川 うーん。そうですねえ。ご飯の用意をしてやれるとか、掃除、洗濯なんかをその分できたというのがあります。

### ■父親はどうしても必要か？

円 あの、ちょっと話が変わるんですが、例えば母親っていうのはどうしても子どもに必要なと思います？ 父親の役割とか母親の役割という形でお話していただければなあという感じなんです。母子家庭の方が私の回りに多いんですが、よく「父親っていうのがやっぱり必要なかな」って考える人が多いんです。

早借 第一に、「父親、母親っていうものが絶対必要だ」なんて言うちゃうと、「じゃあいない家はどんなんだ」というのがありますから、簡単にどうだこうだとはいえないと思いますけど。家庭なんて



そんな単純なものじゃないですから。でもそれでもいえばね、私は、母性なり父性なりの役割のなんらかのものを、その子どもが環境の中で経験できたら、どちらかがいなくてもいいんじゃないかと思うんです。どんな環境の中でも、欠けている方の役割を補完できるようなものがあればいいと。だからそういう環境を作ってあげることが必要なんじゃないか。いずれにしてもその場、環境、立場で柔軟に考えていけばいいことじゃないんですか。

重川 僕はね、父親が意識革命できて、旧来の男とは相当逸脱したまともな男になって、そういう男が子育てをするならば、ひょっとしたら母親はいらないかもしれないと思うんです。そういう男なら一人でも十分に二人分やれるかなって気がしますから。でも「母性神話」っていうかね、「絶対に母



親が要る」というのが根強い社会ですから、そういっても信じられないでしょうけどね。

円 そういう意味では、まだ母親の方がかなりのパーセンテージで両方の役割がやれているということですね。

重川 ええ。母親にとってあと肝心なことは、男社会の中でどうやって食いちぐれ稼いでくるかっていうことだけですよ。考えてみると母子家庭というのは認知されているんですよ。社会で。

円 そうでもないですよ。

重川 いや、認知されていますよ。円 福祉に、「母子家庭には手厚く」というのがありますが、そういった意味ですか？

重川 ええ。それとやっぱり世間は「女は子どもを育てるのは当たり前」と思ってるけど、男がそうするのは変だと思ってる。男の場合

は、耐久消費財としての主婦がいない、内助の功を果たす人がいないということとは、会社人間の男たちの集団の中ではそれだけで失格になっちゃうわけですよ。だから「早く再婚させて真人間、まともな人間に戻して、企業戦士の隊列に復帰させよう」という動きがある。もしくは「あいつはひよっとしたらホモじゃないか、性格破綻者じゃないのか」とって烙印を押して排除しようとする。どちらかの作用が働いてくるわけです。僕なんか、男たちに「おまえはホモじゃないか」とって何回言われたかわかんないですよ。からかい口調なんだけどもかなり本気で言ってるね。

#### ■ポルノ文化支える男の固定観念

円 ということは、すぐ再婚するのが当たり前だという発想なんですね。離婚しても。

重川 そうそう。もうひとつはね「不自由だろう」とか、必ずきまずよね。

円 女の人も皆言われていますよ。学校の先生なんかの間でも、忘年会だなんなのっていうと、「今日は夜行つてやろうか」とか「おれの妾にならないか」なんて言われる

みたいですよ。これはもう教師であらうがふつうのサラリーマンであらうと、皆同じみたい。

重川 それはやっぱり男たちの固定観念ですね。例えば男が一人でいても、女が一人でいても、毎夜、満たされぬ欲求にもだえて：なんてことはない。ところが男たちはそう思ってるわけ。

円 女をみたら性的欲求を起こさなきゃいけないというふうだね。

重川 そうそう、その通り。小さい頃から常にそういうのが訓練されてる。だから女をみたら卑猥な言葉で卑猥なことを連想しなきゃいけないだって思ってるわけ、男は。だから金で買うのも、強姦するのも当たり前だってこうなっちゃってる。それがポルノ文化を支えてきた男たちの思い込みなんですよ。

早借 からかうのって、本人の反応いかんなんですよ。

重川 そう。受け流してればいいんですよ。マジであんなものを気にしてもしようがない。

#### ■母子家庭三日やったら…？

円 ところでさっきね、父親と母親の役割とか聞きまして、それで

思い出したんですが、この前、私、東京都社会福祉協議会でやってる「母と子の自然教室」というところでお話したんですね。「いかにしてこれから母と子で楽しくやっていくか」ということについて。その中で「母子家庭は3日やったらやめられない」という人がいるって話を引用したら、話が終わって質問のときにこういわれちゃったんです。「さっき円さんがそういうふうにおっしゃったのはたぶん冗談だろうと思うんですけど、冗談でもそんなこと大きな声で子どもがいる席やなんかで言ってもらったら困る」と。というのは前にテレビで似たようなことを言った人がいたとき自分の娘が、11歳だけど、見ていてものすごくワナワナと震えて怒り出してね、「私はお父さんもいたほうがいい！」って言ったっていうんです。それで「子どもがみんなお父さんとお母さんがいて当たり前だと思ってるのに、母子家庭三日やったらやめられないなんて言われたら、子どもがどんなに傷つくか！」って。

重川 それはちょっと違うなあ。

円 違うんですけど、でもすごくまじめにしか受け取れない人た

ちっているんですよ。でもそれはね、その人の性格的な真面目さっていうのももちろんあるんだけど、それよりも考え方として「家族というのは父親と母親がいて当り前」というのが強いせいじゃないかと思うんです。後悔はしてない。そう思っているのも父親を奪ってしまったんじゃないかとね、そういう負い目をものすごく感じてしまう人たちが多い。

重川 聞きました。それ。

円 それからまたふだんうまくいってるときはいんだけれども、例えば子どもになにかちょっと問題が起きたときに、そんな問題とこの家でもあるもんなんだけど、「父親がいらないからかしら」って思い込む人が多いんですよ。例えば私なんかでもね、ふだんは彼がいなくなっただけで、なんでもないと思って、そして実際、彼がいなくても娘と二人で十分やっていけてますけど、それでもなお、例えば子どもがちよっと病気になるったりとか、「学校に行きたくない、やめる」とか言い出したり、困らせるようなことが起きると、「誰かやっぱ相談する人がいないと困るな」って思う。で、そういうとき「ここに

娘の父親がいたら、なんとなく話ができるから楽なんだろうな」とって思うことがあるんです。でもそれは父親じゃなくてもかわりをつくっておけばいいことですね。

重川 でしょうね、たぶん。父親とこだわらなくていいわけですよ。でもやっぱり形っていうものが人間を支配してるっていうか、人間って逆に形を離れては生きられない、生きることが苦しくなるということがあるんですよ。形に乗ってると楽なんです。すごく。早借 そうですね。

■完全主義ではやっていけない

円 片親だからって、他の子どもとできる限り同じようにしてやろうなんて頑張ろうとしてもそれは全部できるわけではないですよ。やっぱり何を優先させるかきちゃんと決めてやらないと、仕事と子育てやってられませんか。女の人は「母性神話」も強すぎてね、そのプレッシャーにおされて、うまくできないと、もう嘆いてしまう。それこそ子どもにちゃんと爪を切ってたたり、ティッシュやハンカチを忘れないように持たせたりすることに気を遣い過ぎちゃって、

基本的に大事な現実での子どもの関係がちっともいい形になってないという人がたくさんいます。まわりから責め立てられないようにすることだけに時間と労力を使っただけですね。

早借 たくさんいますよね。

円 ええ。だから女もたいへんなんです。

重川 ああ、そういうものですかね。女性たちもそれなりに参ってるんですね。

円 ええ。みんな悩んで迷って。育児書なんか読むと余計ダメになるし(笑)。

■父親の溺愛体験は娘に必要か？

重川 育児書はね。実はね、僕ひとつだけ気掛かりなことあるんですよ。僕は男の子とは違って女の子には一人の父親に徹底的に愛されるっていう経験が必要みたいな気がなんとなくするんですよ。そういう経験のない女の子ってなんか不安になるんじゃないかなというね、異性に対して。

円 そうね、どこかね。いい人間関係を築けるかどうか。私も娘にその点だけ不安です。

重川 そのことをどう解決したら

いいのか。かなり難しい問題だしね。それから息子の方はね、今、母親への対し方をチラチラみてる、まあ電話のやりとりとかね、「理想の母親」にしちゃってるフシがあるんですよ。あれが危険じゃないかなあって思ってるんです。

円 いらないから余計そうなんです。うね。それに会ってるときはいお母さんしてらっしゃるのね、きつと。

重川 きつとそうだと思います。でもやっぱりありのままの、汚いところも、えげつないところもある女性としての母親の全体像をしっかりみておかないと、どういふふうになっていくのか。

早借 男って物事をすべて自分の思い通りに加工しちゃうから。

重川 そうそう、だからそのへんもうちよっと事実には則して物事に入っていくようにしないと。男社会が培ってきた、男だけのいわゆる精神文化のなごりが自分の中に強く残っているのを感じます。なんかいつも観念の方が先に走っちゃう。思い込みが先に走っちゃう。早借 そういうところ、あるかもしれませんね。



## 第七〇回

栃木県 Kさん

家族構成

私 四六歳

息子 二十歳

住居

私 貸家

息子 下宿

子どもは高校卒業後、専門学校に進み、現在はその学校近くに下宿し、一人暮らしをしています。生活費は、子どもが20歳になるまで貯めてあった父親の養育費に私が少し足したものです。すべて賄っています。これでとりあえずは一安心といったところですが、学校終了後はイギリスへ行きたいなどとも言っており、親としての心配はつきません。息子は私大には合格していたのですが、4年間も経済的に自信がないとあきらめさせてしまったので、これからは好きにさせてやりたいとも考えています。

## 家計簿内訳 (私の分のみ)

【収入】	
給料	300,000円
計	300,000円
【支出】	
家賃	40,000円
食費	70,000円
電話代	7,000円
被服費	20,000円
雑費	20,000円
ガス・水道・光熱費	14,000円
保険料	27,000円
貯金	102,000円
計	300,000円

☆息子の分(家賃37,000円と食費他の生活費100,000円は、息子名義の通帳から息子がよろして使っている)

私自身の収入は安定していますので、その方面での心配というのは今ではそれほどありません。ただ職業が、廃棄物処理業の現場要員で男性の中に紅一点混じって機械を操作したりする肉体労働ですから、これをいつまで続けるか、やめた後の身の振り方をどうするか、といったことは考えることがあります。将来、子どもをあてにすることだけはしたくないと思っています。現在、一番、精神的に大きな比重を占めている問題は、これからを一人の人間として、どんな形で生きていくか、どういう形で自分

を残して死んでいくか、ということとです。食べるためにだけに生きてそのまま死んで、後は何も残らないというのはいやなのです。そう考えると、生活自体は落ち着いても、毎日の生活に何の張り合いも感じられなくなり、空しくなることがあります。それで最近はお休みの日などに友達と山へ山菜やキノコ採りに出かけたり、釣りに出かけたりするようになりました。そしてそこで出会った、今まで見たこともないような色の美しい植物や魚を熱中して鑑賞しています。自然界のみごと

な美しさには、本当にみとれるばかりです。

また家では、気の向くままに絵を描いたり、音楽を聴いたり、ちょっとした文章を綴ってみたりしたりもします。時に、音楽家や絵描きや小説家になった自分を想像しながら…。

ハンドの会報を読ませていただいて、子育て中の方々の四苦八苦に昔の自分の姿をみるようで、頑張っていると願わずにいられます。私も10数年ほど前は、ダムの建設現場での仕事を、本当に男ばかりの中に混じってやったりもしました。そういうと「もっと女性向きの仕事がなかったの」と笑われてしまうことが多いのですが、当時は仕事を選んでいく余裕もなかったのです。それにこういった仕事をこなしてきたんだということは、私の自信にもつながっていますので後悔なんかは全くしていません。時には「そうやってきた自分自身って芸術だなあ」などと思ったりもしています。ですから皆さんが、これからもうくじけず頑張っていけることを心からお祈りしております。

ハンド・イン・ハンドは、みなさんがつくる雑誌です。  
みなさんの日常考えていることや、生活の匂いが伝わって  
くるような、そんなハンド・イン・ハンドでありたいと  
思います。お便りをどんどんお寄せください。

## ■親権の変更方法を教えて

T・I (神奈川)

離婚して11カ月です。2歳5カ月の男の子を残しての離婚でしたので辛かったです。昨年1月からの椎間板ヘルニアが完治していなかったで、育てる体力もなく経済力もなく、泣く泣くおいてきました。

青森の冬の寒さでは体にこたえらると思ひ姉夫婦のいる横浜に引っ越し、整形外科では有名な病院に入院し、現在はリハビリに通いながら少しずつ働いて様子をみています。完治することは一生涯の病と付き合っていかなければいけないといわれています。

体の悪いときは考えなかった子どものことも、よくなるにつれて思ひ出され辛くなります。自立して一日でも早く一緒に暮らしたいと思っている毎日です。離婚は調停離婚でした。

親権は父親がとりました。面会はいつでもできます。親権の変更

をしなく思いますが、どのようにしたらいいのか教えてください。

(編集部より)

親権の変更はまず別れた夫と話しあってみましょう。親権は父親のまま、あなたが育てるという方法も考えられます。養育費も決めるというですね。もし両方で話し合いが無理なら、家裁で親権変更の調停ができますが、父親側に児童虐待のような事実でもない限り難しいでしょう。

■子どもと相手との面接がイヤ

T・M (静岡)

離婚時、月1回程度という約束で父親と子どもたちとの面接を決めました。離婚しても子どもたちには父親だと思ひ、下の娘はまだ1歳なので父親の味をまるで知らないのはかわいそうだとも思ひたからです。

でも、最近になってこの面接が私にとって苦痛になってきています。日常の世話をせず、自分の都合のよい休みのときだけ子どもたち

ちに会って、ほしがる物を買ひ与え、子どもたちにいい顔をするのがたまらなくいやです。ろくに面倒をみてもらっていない下の娘までが「父さん、いい」と言うのがたまりません。別れた後「父さん、バイバイ」と言うのを聞くのも、とてもかなしい気持ちになります。いつまでも父親に会わせているのは、子どもに未練が残ってよくないのでは、という人もいます。

かといって、ときどき父親をとっても恋しがって「お父さんに会いたい」と言い、機嫌が悪くなり、会うとたちまち機嫌が悪くなる上の娘を見ると、この子のために、がまんしくちゃとも思ひます。

また父親は養育費を払っているから会う権利があると思ひているようで、これを断ったら、確実に養育費を送ってこなくなるでしょう。それも困るなあという気持ちもあるのです。

別れた相手と子どもとの面接について、皆さんがどう考えているか知りたいと思ひます。

■子どもの気を引く相手がイヤ!

I・S (愛知)

子どもの事を心配し、何かあるといまだに向こうから手紙をよこ

して「こうしろ」と言ってきたりされるのが、うっとうしい。

「ママに怒られたらパパに言ひなさい」とか「ママがいいって言ひたらいつでも遊びに来ていい」などと、子どもが向こうの方へ行けるような事を言う。月に一度、会わせているのに。

■中絶を強要されて:

M・O (福岡)

昨年9月、出産のため福岡へ里帰りしたのを機会に、そのまま別居生活に入り、出産後5カ月足らずで離婚しました。結婚期間は6年でした。

上の子を生んでしばらくしたころから、少しずつ夫の子どもっぽさやわがままに振り回されるようになり、落ち込んではお腹を取り直すという生活をしていました。

上の子が2歳になる前、第二子を妊娠したのですが、それがわかったとき、中絶を迫られました。

「将来が不安だし、子どもは一人にして余裕のある生活をした」というのが理由でした。私はイヤで話し合おうと努力したのですが「これで俺たちもおしまいだ。残念だったな」と離婚をちらつかせる始末。当時、彼と子どもとの生活し



か考えられなかった私には他の発想もなにも浮かばず、それでついに中絶したのです。

自宅に戻ると夫が「ごめん」と寄って来ましたが「しめしめ」と言っているように思えて、歯がゆくて、寄せ付けることもできず、「3人の生活もこれまでか」と思いました。でも私の異変をたった2歳で気づく息子を見て、「この子のためにももう少し頑張ってみよう」と決意。彼もその後、少しやり直そうと意識的だったこともあって、次第に元にもどりがけ、和やかな日々もありました。

ところが夫が会社の人間関係に不満を持ち退社。転職を繰り返すようになり「将来が不安だからおまえも働け」と言い始めました。その頃、息子が幼稚園に入ったばかりということもあり、「働こうとは思っているのだけど、準備期間が欲しい」と言ったのですが、「いますぐでないでダメだ」という始末。それで保母の仕事を見つけて始めましたが、3人のキスグスイライラした生活が続くようになったのです。

それでもなんとか彼の気に入った仕事が見つかり、やっと落ち着

く希望が見えてほしかったころ、また赤ちゃんができたことが判明。それを告げると「ダメだ。せっかく3人でやっていこうとしていたのに！ おまえは詐欺師だ。だまされた。俺の気持ちが変わってないからどうして！」と罵られました。でも私は「今度こそ生もう」と決心。そして先のように里帰りして出産、離婚した次第です。

出産を決めて黙々と働く私に、彼は冷たく当たり続け、「子どもの送り迎えも家事も一切、協力しないから。覚悟しろよ」と言い出した。福岡で出産して、「女の子が生まれた」と連絡しても何の気遣いもありません。

妹が、「姉は離婚を決意している」と手紙で告げた時、初めてあわてて電話があったくらいです。

帰郷したときはまだ迷っていたけれど、この頃はもう決心していました。彼がやってきて私の目の前で泣いたけれどももう戻らなかった。

今は、上の子の気を引こうとひんぱんにかけてくる彼の電話が一番の悩みです。お父さんとの想い出も確かにあって、そのことは大切にしたいのですが、母子3人で力を合わせて頑張ろうとい

うときに水を差すような彼の言動が許せず、ヒステリックになることもあります。抗議しようかとも思っています。離婚したからといってスッキリと縁を切ることができないとは、あまり予想してなくてとまどっています。

#### 振込通信欄から

★夏の合宿、たいへん楽しく参加させていただきました。また新しい知己を得、自分を広げられ、大きな収穫でした。七夕参加で久しぶりの再会に娘共々、お互いの成長を確認し合えました。病を得て体力の消耗だけは残念ですが、皆様も健康管理だけは十分にしてくださいね。

(東京 H・H)

★大阪の夏合宿から帰ってきたばかりです。一年ぶりに再会する子どもたちは、各々、ひとまわり成長していて、我が子も成長しているんだなあ。例／＼わがりの長男が初めてジェットコースターに乗りました。小五でスリルということを味わった「やつめ」は、どのように変身してくれるでしょう。とにかくワイワイ、ウロウロ楽しんできた親子です。

(大阪 M・Y)

#### ■事務局便り■

☆9月25日NHKの9時の「ニュース21」見ましたか？ 児童虐待の特集が放映されました。聞けば「私も覚えがある」という人のなんと多いこと!! これから子育てをしようという私、ぜーったい、見過ごせません。これについて意見や体験談のある人、ぜひ編集部あてまでお便りを。いつか特集を組んでみたいと思います。

(雪野)

☆台風だ、秋雨前線だとうとうとらしい日が続きますね。洗たく物が乾かなくて困ります。早くスカッとした秋晴れの青い空の下で思いっきりお日様に当たたいと思っています。

(佐藤)

☆会員の さん、 さん、 さんが、ハンドの会を私一人に十年間も頼りすぎていたと、忘年会や合宿を自主運営してくれることになりました。私はしばらくお客様をさせていただきます。事務所は休みにしていることが多いので、住所変更や本の注文等、ぜひ葉書をお願いします。

(円)



### 第三三三回 ニコニコ離婚講座

十一月三十日(土) 一時半～五時。  
飯田橋セントラルプラザ6Fで  
(JR飯田橋駅下車隣り)。円より  
子と金住典子弁護士による「離婚  
の法律と手続き」。参加費は二千  
円。電話で予約を。

☎〇三(三四〇二) 七三五四

### 会合のお知らせ

#### ★東京の会合

十一月三十日(土) 午後六時～七  
時半。円より子の表記事務所  
(JR千駄ヶ谷駅下車四分) ハンド  
の発送をしながらおしゃべり。み  
なさん協力して下さいね。

(東京忘年会のお知らせ)

十一月二十九日(金) 渋谷駅前109  
に午後六時半集合。会場は懐石き  
きよう庵 ☎(三四七七) 六八〇三。  
費用は約四千五百円。先着二〇人。  
子連れは不可。参加希望者は  
FAXで「ディスコ営業3課山下」  
まで。FAXは(三四七三) 五八一〇

#### (東京の春合宿の予告)

平成四年三月二十八日(土)～三〇  
日(月) 埼玉県嵐山の国立婦人教  
育会館で。子育て中と一段落組と  
テーマを分ける予定です。具体的  
申込みは二月号ハンドで。特にこ  
希望、企画、アイディア等をおもち  
の方は、何でも結構です。ハガキ  
でハンドの会までお寄せください。

#### ☆大阪のニコニコ離婚講座

十一月九日(土) 午前十時半～。  
大阪府立文化情報センター(住友中  
之島ビル5F)で。講師は竹川幸子  
弁護士。

★大阪・ハンド例会は講座当日の  
午後一時半～四時。竹川法律事務  
所で。(移転したので、おまちがえ  
のないよう) 竹川法律事務所

☎〇六(三九三) 一三三二

#### (大阪事務所移転のお知らせ)

大阪の竹川法律事務所の住所と電  
話・FAX番号が移転のため以下  
のように変わりました。

〒五三二 大阪市淀川区宮原町四一  
四二 新大阪ランドハイッパ〇  
四号 ☎〇六(三九三) 一三三二

FAX 〇六(三九三) 一三三二

地下鉄御堂筋線新大阪から新御堂  
筋沿いに北へ約7分。

#### ★仙台の会合

十一月九日(土) 二時。青年文化セン  
ター2F。希望者はTELで予約を。

#### ●ハンド 求人案内●

一般家庭の定期お掃除、家事代行  
のパート・アルバイト募集  
時間……週一日以上、十～十六時  
時給……一、二六〇円以上

交通費全額支給、

制服貸与、食事補助有

勤務地……①板橋区、豊島区、北区

②埼玉県南地区 ③目蒲線沿線

☎〇三(三九六五) 三三五一まで。

ハンド会員! さんから人手不  
足とのお便りいただきました。

#### ☆離婚一〇番

〇三(三四〇二) 七三五四  
〇三(三四〇二) 四三八五  
電話相談は第一、第三土曜日が  
午後一時～四時。第二、第四、  
第五土曜日が午後六時～九時。

#### 購読料について

現在つぎの三通りの方法をとら  
せていただいています。

① 一年間三〇〇〇円(送料共)

② 二年間まとめて前払いして

くださる方には、二年分、

六〇〇〇円のところを五〇

〇〇円に。

③ 出世払いもしくは免除

どうしても苦しい方は、いつで

も遠慮なく申し出てください。

それぞれ出費が多く大変でしょ

うが、期限切れの通知の入った

方、またはこの折りにという方

いずれも都合のよい方法でど

うぞ。

(振込先) 各地の郵便局にて

振込用紙は無料でもらえます。

東京一四一(二〇五四二)

ハンド・イン・ハンドの会